



vol.8

このコーナーは、小田川市長が掲げる今年の漢字「越」にちなんだまちづくりを紹介するコラムです。



つくばみらい市・常総市 広域避難訓練を実施



▲開設した避難所の様子。コロナ禍での感染症対策や、プライバシー確保のため、簡単に設営できる「ワンタッチテント」を、市で昨年 1,000 張購入しました。



▲ハザードマップや防災啓発ポスターなどの展示コーナーが設けられました。



▲備蓄品の展示では、備蓄用食料や毛布などの紹介を行いました。

図 伊奈庁舎防災課（内線2502）

毎

年9月1日は「防災の日」。「大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないように」という思いと「この時期に多い台風への備えを怠らないように」という思いが込められています。

平成27年9月の関東・東北豪雨を踏まえ、鬼怒川・小貝川流域で大規模水害が発生した場合に、自分が住んでいる市町の境界を越えて他の市町に避難する「鬼怒川・小貝川下流域の大規模水害に関する広域避難計画」が令和元年5月に策定されました。

7月31日、つくばみらい市と常総市は「大雨の影響で鬼怒川が増水し、氾濫の危険性が高まっている」という想定で、細代・寺畑および常総市（水海道山田町・水海道川又町）の住民が小絹中学校へ避難する訓練を実施しました。

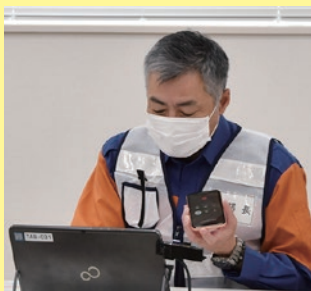
※新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数を限定して実施しました。



避難訓練の様子

情報伝達の確認

伊奈庁舎に設置した災害対策本部にて、小田川市長が下館河川事務所とのホットライン（直通電話）および常総市とのオンラインによる情報伝達訓練を実施しました。市は、国や県などの各機関と連絡体制を構築し、常に災害に備えています。



避難者の受け付け



両市の避難指示を受け、小絹中学校に両市民が避難しました。つくばみらい市民は体育館へ、常総市民は柔剣道場へ避難しました。受け付けでは、検温やチェックシートによる感染症対策を実施しました。

ワンタッチテントの設営

訓練では、避難者・市職員・消防団が協力して、ワンタッチテントを設営しました。ワンタッチテントを設営することで、感染症対策と避難者のプライバシーを確保することができます。



講演会の実施



茨城県防災士会の^{おぎのえつお}荻野悦男さんを講師に招き、避難所に関する講演会を実施しました。講演会では、水害時の心構えや避難所に求められる機能、トイレ対策の重要性など、幅広い内容についてお話いただきました。

"もしも"に備えて事前に対策を！

市ホームページでは、避難所の開設状況が確認できるシステム「VACAN」やマイ・タイムライン作成の手引きなど、事前の準備に役立つ情報を掲載しています。



市ホームページ
はこちら

近年、大型台風の襲来や局地的豪雨などが日本各地で発生しています。本市は市民・地域・企業が連携・協力した、災害に強いまちづくりを進めています。市民の皆さんも、事前にしっかり対策し、一緒に災害を乗り越えましょう！

